2012.5

取扱説明書
インパクト・ハンガー　品番：＃４４５４０　型式：ＳＭ１５２２

１，組み立て方法

図１

①６２，本体ワイヤーを、５８，カーブチューブと４９，サポートチューブに通して、６２，本体ワイヤーのワッカ部を、４９，サポートチューブの下側から出して下さい。そして、５８，カーブチューブの５３，ピンが、４９，サポートチューブの２本の５３，ピンの間に位置する様に、向きを合わせて差し込んで下さい（図１参照）。

②４１，ベースワイヤーと６２，本体ワイヤーのワッカ部を６６，カラビナに通して下さい（図２参照）。

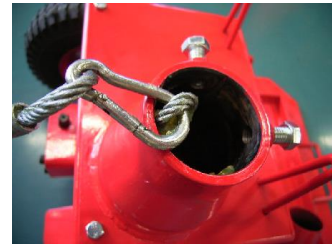



図２

③①で接続したチューブの、４８，５０，ホルダーを１，トレー側に向けて、２４，ホーンヘッドに差し込んで下さい（図３参照）。

図３

④２本の２５，ボルトを時計回転方向に回して、確実に締め付けて、２４，ホーンヘッドから４９，サポートチューブが抜けない様にして下さい（図４参照）。

図４

⑤使用するインパクトレンチのハンドルに、６１，ベルトを縫い合わせ面が当たる様に通して下さい（図５参照）。

図５

⑥６２，本体ワイヤーの４５，カラビナのナットを回して取り外し、２ケの６０，ベルトホルダーと６２，本体ワイヤーを４５，カラビナに通して下さい。そして確実にカラビナのナットを締め付けて下さい（図６参照）。

図６

⑦移動させる時は、インパクトレンチのアンビルを、９，インパクトホルダーに奥まで差し込み、８，ボルトを時計回転方向に回して、アンビル（インパクトレンチ）が抜けない様にして下さい。そして、６，背板を踏み、５２，移動用ハンドルを持ち、１，トレー側を持ち上げて、移動させて下さい。２３，ソケットホルダーにはインパクトソケットを２ヶ収納する事が出来ます（図７参照）。

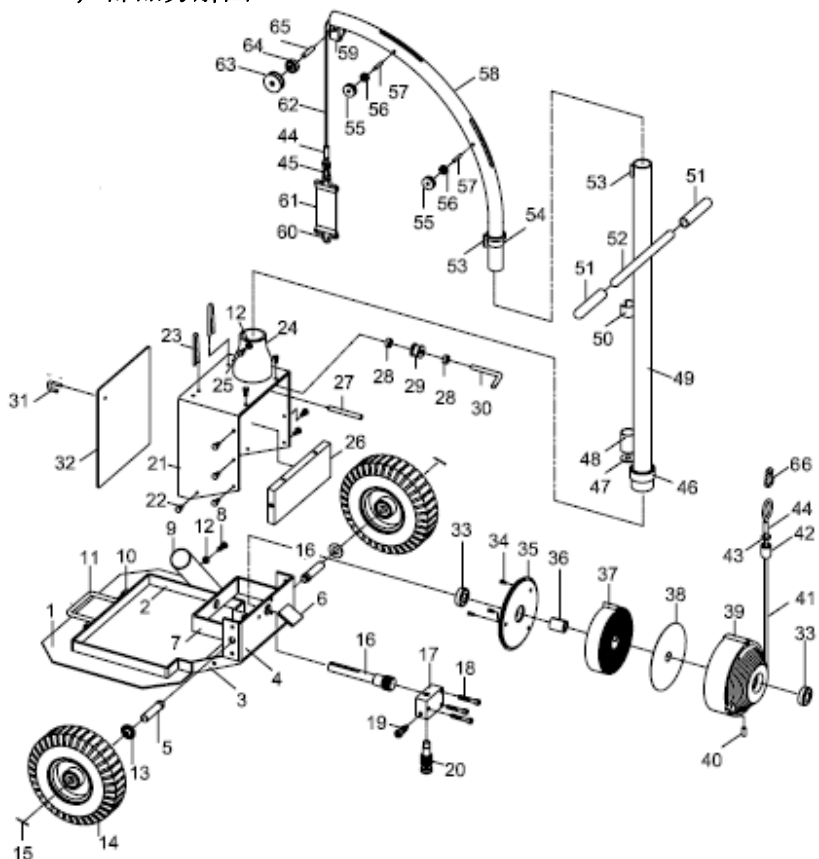
図７

２，張力テスト及び、張力調整方法

①本商品に取り付けるインパクトレンチの重量によっては、ワイヤーが引き出されて、インパクトレンチが落下したり、ワイヤーが巻き戻されてインパクトレンチが上に引張られる事があります。この場合は、２０，調整ネジを回して張力を調整して下さい。インパクトレンチが落下する場合は、２０，調整ネジを時計回転方向、インパクトレンチが上に引張られる場合は、２０，調整ネジを反時計回転方向に回して調整し、出来るだけ中立を保てる様にして下さい（図８参照)。

図８

②６２，本体ワイヤーと接続したインパクトレンチを、地面付近、中央、５８，カーブチューブの６２，本体ワイヤー出口付近にセットし、下方向に落下する場合や、強く上に引張られる場合は、①を参考に調整して下さい。

３，部品分解図

品番	商品名称	品番	商品名称
１	トレー	３４	ネジ
２	ボルト･ナットトレー	３５	カバー
３	傾斜プレート	３６	ブッシュ
４	鉄プレート	３７	プレートスプリング
５	シャフト	３８	シャーシ
６	背板	３９	バランサーホイール
７	フレーム	４０	カラー
８	ボルト	４１	ケーブルワイヤー
９	インパクトホルダー	４２	ストップピラー
１０	取手ホルダー	４３	ワッシャ
１１	取手	４４	カラー
１２	ナット	４５	カラビナ
１３	ワッシャ	４６	固定具
１４	ホイール	４７	ワッシャ
１５	スナップピン	４８	ホルダー
１６	調整ギア	４９	サポートチューブ
１７	アジャストベース	５０	ホルダー
１８	ボルト	５１	ラバーグリップ
１９	セットネジ	５２	移動用ハンドル
２０	調整ネジ	５３	ピン
２１	フレーム	５４	リング
２２	ボルト	５５	ホイール
２３	ソケットホルダー	５６	ベアリング
２４	ホーンヘッド	５７	ピン
２５	ボルト	５８	カーブチューブ
２６	バックカバー	５９	固定サポート
２７	シャフト	６０	ベルトホルダー
２８	ブッシュ	６１	ベルト
２９	ホイール	６２	本体ワイヤー
３０	シャフト	６３	ホイール
３１	ベルトフック	６４	ベアリング
３２	フロントプレート	６５	シャフト
３３	ベアリング	６６	カラビナ

４，注意事項

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）
①本機を移動させる時は、しっかりと**５２，移動用ハンドルを握り、横転しない様に十分注意**して下さい。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①本機は**自重１５～２２ｋｇの大型インパクトレンチ専用**です。 ②本機は汎用品の為、インパクトレンチのバランス、ハンドル形状等により、取り付け出来ない場合があります。 ③本機の分解、修理、改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。 ④本機にインパクトレンチを取り付けた状態で移動させる時は、必ず**９，インパクトホルダーにインパクトレンチを固定**して移動させて下さい。 ⑤本機に破損箇所や、変形がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。 ⑥本機にぶら下がったり、乱暴な取り扱いはしないで下さい。 ⑦本機を傾斜面、軟弱地で使用したり、移動をしないで下さい。 ⑧移動させる際は、エアホースを必ずインパクトレンチから取り外して下さい。 ⑨ワイヤーの張力調整、カラビナのナットの締結の確認は定期的に行なって下さい。 ⑩６１，ベルトに刷れ、ほつれがある場合は、使用を中止して下さい。 ⑪ワイヤーに切れ、ほつれがある場合は直ちに使用を中止して下さい。 ⑫本機は、大型インパクトレンチを取り付けて作業を容易にするハンガーです。それ以外の用途には使用しないで下さい。

株式会社パーマンコーポレーション

〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００